

皆さん、おはようございます。

二日間もの臨時休校をせざるを得ないほどの大雪に見舞われた冬でしたが、季節は移ろい、早くもウグイスの鳴き声も聞かれるようになってきました。

一月一日の石川県能登半島地震で、今なお日常が取り戻されていない方々、ロシアによるウクライナ侵攻、パレスチナ自治区ガザ地区における、イスラエルとイスラム組織ハマスの戦闘など、二つの戦争が今なお続いている中ですが、こうして皆さんとともに、無事令和五年度修了の日を迎えられました。感謝したいと思います。

後の伝達表彰にもありますが、部活動を中心に、大変多くの輝かしい成果が収められたことを、生徒の皆さんに感謝し、大変ありがたく思っています。

春の選抜高校野球が昨日始まりましたが、本校からも、春の全国選抜大会としてウエイトリフティング、レスリング、ボートの3種目で、合計9人が出場します。

本日私からは、違う種類のお話を二点します。

一点目は、昨年、被服室を仮の舎室とすることを紹介したのですが、本日は食品製造工場三階の工事についてです。

年々、京都市内など、遠方から学習内容の魅力を求め、入学する生徒が増えていることの対応として、下宿不足を補うため、食品製造工場の三階を改築し、寮の定員を増やす工事が終了しました。本来の実験室・教室として使えなくなることを了解しておいてください。

あわせて、現在実習船「みずなぎ」は、二月二十五日から、山口県下関市のドックにて点検・整備中でありますことも紹介しておきます。新年度からの乗船実習が円滑に実施できるよう、事務室の皆さん、乗組員の皆さんには、私たちの見えないところでも、一生懸命、学習できる環境の確保、そして安全確保のため尽くしていただいていることを忘れないでください。

二点目は、みなさんに贈りたい言葉です。それは、「堅い木は折れる。」です。

冬季全体を通しては、積雪が少ない冬でしたが、一月の大雪の朝、学校にある木の一部で、折れた木もありました。

「堅い木は折れる。」とは、堅い木は頑丈ですが、柔らかい木のようにしなやかさががないために、風や雪の影響を受け、かえって折れやすいということを意味しています。

これを、私たち人間にたとえますと、強情で柔軟性のない人が、一旦氣力を失ったり、困難なことにぶつかったりすると、意外にもろく、くじけやすいものだということです。例えば、「竹」という植物は、細くても太くても、「根っこ」をしっかりと張っています。根をしっかりと張ることは、人間でも苦しいときなどに倒れない自分をつくることに繋がります。

ます。どのような「根」を張っていくかは、皆さん次第です。

皆さんも知っているとおり、「竹」はしなやかで、傾くことはあっても、折れるようなこととはほとんどありません。この柔軟なものの考え方や、相手の気持ちを理解できるしなやかさは、生きていく上でとても大切なことと思います。

人間は、共同生活を送る生物です。「人生は、出会いに左右される。」とも言われます。「出会い」は、必ずしも人だけではなく、本などとの出会いもあります。社会人であれば、人や本だけではなく、新しい仕事や役割なども含まれます。「出会い」を、自己を高めていくことのできるチャンスと捉え、それぞれが大切にしてもらえればと思います。チャンスの機会を生かせるか、生かせないかは、皆さんひとりひとりにかかっています。春休みは、新しいことに挑戦したり、目標をつくったりするためには、よい時期です。

この春休み、柔軟な気持ちを大切にしながら良い人との出会い、そしてよい本との出会いがありますように応援しておきます。

結びになりますが、三月一日は卒業式でした。三年生は、それぞれが納得のいく希望進路の実現を果たし、巣立っていきました。ここにいる皆さんは、本日の通知表で確認できるとおり、それぞれ二年生、三年生に進級し、四月から新入生の先輩としての新しい学年になりますので、一層責任感ある行動が求められてきます。

次は四月八日（月）、離着任式、始業式に登校しますが、九日は入学式と、学校にとって大切な年度の始まりの時期を迎えます。

それぞれが注意して事故などに遭わないように、また体調を整え、一日一日を大切にしてお過ごし、よいコンディションで新学期を迎えられるようお願いしておきます。

令和六年三月十九日

京都府立海洋高等学校

校長

上林

秋男

以上です。